Future

会報　第 27 号　December2024

会津喜多方国際交流協会

〒966-0051　福島県喜多方市字東町4088-1 東町蔵屋敷会陽館内
TEL：0241-22-1712　FAX：0241-23-6210　Mobile：080-1830-8072
Email：mailakia@seagreen.ocn.ne.jp
ホームページ：https://kitakata-kokusai.jp/
Facebook：https//www.facebook.com/AKIAinfo
喜多方市外国人相談窓口専用ダイヤル　TEL：0241-23-6210

外国人相談窓口オープン！

２０２４（Ｒ６）年５月21日、会津喜多方国際交流協会は市から「外国人相談窓口」業務を受託しました。場所は、東町蔵屋敷「会陽館」。これに合わせ、相談者が訪れやすいように執務室を移転しました。

当協会は昨年度一年間、「多文化共生社会」をめざす県のモデル事業を受託しています。この事業は、人口減少・少子高齢化により働き手や地域社会の担い手不足など様々な現象が生じている中、増加傾向にある外国人と共に安全で安心して生活することが出来る地域社会―多文化共生社会をめざすことを目的にしたものです。この事業の受託を契機に、国の「外国人相談窓口」の必要性を認識し、開設することになりました。県には現在（２０２４・Ｒ６）喜多方市を含め、５つの「外国人相談窓口」があります。市や商工会議所、ハローワーク、労働基準監督署、外国人雇用者連絡協議会等と連携しながら、相談業務を行っています。

言葉や文化が違う外国人にとって、生活上の様々な問題をワンストップで解決できる「相談窓口」は増加傾向にあります。相談内容は多岐にわたりますが、市民として生活をする上での相談が多いのが現状です。

窓口体制は１名の専門相談員と４名の相談員で対応しており、５月の開設以降、研修を重ねてまいりました。また10月13日には、11月からの自転車道路交通法改正を前に、喜多方警察署と連携し、喜多方ドライビングスクールをお借りして自転車を持ち込んだ研修を実施。12月５日には市や商工会議所と共に「外国人の採用と定着」というテーマでセミナーを開催しています。

地域で暮らす外国人が、毎日の生活の中で隣近所と挨拶をかわし、声を掛け合い、困ったときは助け合う、そんな当たり前の環境づくりに努めていきたいと考えています。

当協会はこの考え方を基本に、相談業務はもとより、様々な交流事業に取り組んでいきます。皆様のご協力をお願いします。

TEL:0241-23-6210
Email:kitakata.soudan@vega.ocn.ne.jp
受付時間 / 平日９：00～16:00
休み / 土・日曜日・祝日

専門相談員

五十嵐千春

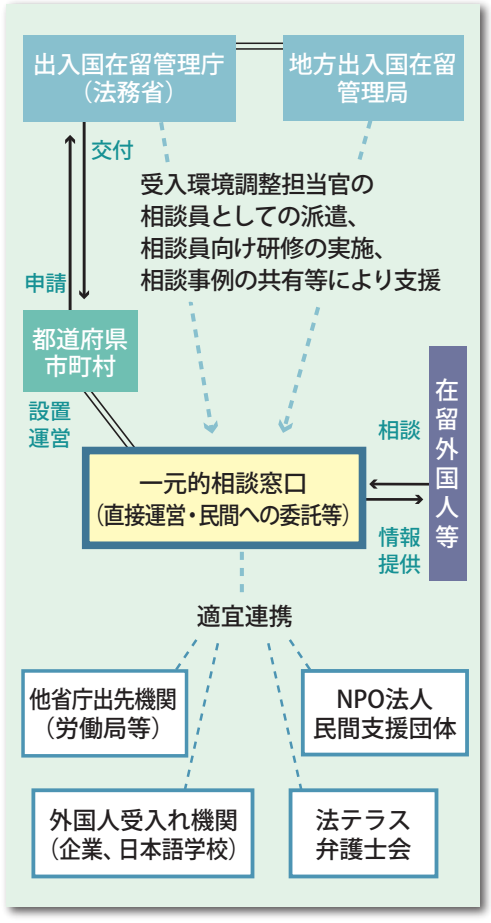
相談員

瓜生　賢恵

髙橋　明子

蓮沼　ふみ

山口佳代子



市内在住外国人数　363人　2024年11月末現在

Column

外国人相談窓口スタート!

今年度のスタートは協会にとって歴史に残る年になりました。協会設立以来の移転、国からの「外国人相談窓口」の事業受託。少ない職員と多くのボランティアの方々に支えられての幕開けでした。国際交流協会という組織が「会陽館」という歴史ある建物に入居。この建物と地域、そして私共の活動が市にとって魅力の一つになるよう努めていきます。

6年ぶりです! こんにちは、喜多方

ウィルソンビル高校生使節団　来喜

ウェルカムパーティ

7月4日（木）、夜7時過ぎ、ウィルソンビル高校生使節団20名がウェルカムパーティの会場、松山公民館に到着。コロナ禍で中断していたウィルソンビル市からの交流が再開しました。

ウェルカムパーティの会場となる松山公民館では、ホストファミリーの方々が飛び交う蚊を追い払いながらの準備に大奮闘！ここから喜多方市での11日間の生活がスタートです。

ホームステイ滞在中の土日はホストファミリーと過ごすという約束があり、今回の行程にはそれが2回ありました。事務局はホストファミリーの方々の負担を心配していましたが、それも杞憂に終わり、逆に双方ともが日本の一般家庭を十分味わう良い機会になったようです。

この季節は日本の梅雨時。お天気に恵まれず、今回新たに企画したイベントを見送ることもありました。また最近の線状降水帯の影響や雷などの影響もあり、行程の途中でも変更を余儀なくされることもしばしば…この時期のイベントの難しさを改めて痛感させられました。

今回の集合と解散は原則、会陽館。これにより、関係者の方々に蔵の町喜多方を知って頂く良い機会となったと考えています。移転して得た喜びをまた一つ積み重ねることが出来ました。

この使節団には、日本の伝統文化への参加や小中学校への訪問、そして地域の方々との交流と言う目的があります。今年は毎回参加させて頂いている上町のお祭りの前に、会津喜多方祭囃子盆踊り保存会にお願いして和太鼓の体験を組み入れました。日本人にとっても太鼓の音は格別ですが、彼らにとっても同様のようで皆さん熱心に練習に励んでいました。また茶道の体験を新宮熊野神社の長床で経験しました。この取り組みには我々日本人の同行者の方々が感激！ご協力頂いた宗徧流の齋藤社中宗千先生に心から御礼を申し上げます。さらに高郷の荻野漕艇場では授業の日程を変更してボート交流をして頂いた高郷中学校など、ご協力頂いた方々に改めて御礼を申し上げます。

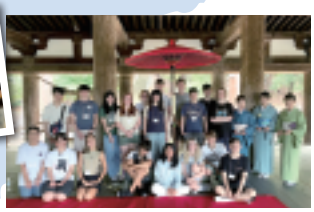
様々な経験をした11日間でしたが、あっという間に喜多方での生活が過ぎ去り、7月14日、会陽館でのお見送りの日が参りました。11日間の交流を振り返り、寂しいと涙を流すホームステイ先の小さい子もいるなど、別れの辛さと交流の素晴らしさを実感したひと時でした。

さて来年はウィルソンビル市への訪問です！喜多方の使節団一人ひとりが、ウィルソンビルで新たな出会いを見つけてくれることを期待しています。

高郷中学校とボート交流

上三宮小学校訪問

和太鼓体験



長床茶道体験

さよならパーティ

2024 ウィルソンビル高校生使節団 スケジュール

7/4（木）
- 喜多方到着・ホストファミリーと対面
- ウェルカムパーティ（松山公民館）

7/5（金）
- 市長・教育長表敬訪問
- 喜多方高校訪問

7/6（土）・7日
- ホストファミリーと自由行動

7/8（月）
- 塩川中学校訪問
- 小田付散策・アクティビティ
  ※大雨のため中止

7/9（火）
- 座禅体験（慶徳寺）■茶道体験（長床）
- 料理交流（慶徳公民館）■和太鼓体験

7/10（水）
- 土津神社訪問　■野口英世記念館見学
- 河京ラーメン館で昼食（ラーメン&ビュッフェ）
- 上町まつり参加

7/11（木）
- 上三宮小学校訪問
- 高郷中学校とボート交流（荻野漕艇場）

7/12（金）
- 鶴ヶ城見学　■飯盛山見学
- ドン・キホーテで買い物
- さよならパーティ（ふるさと亭）

7/13（土）
- ホストファミリーと自由行動

7/14（日）
- 喜多方出発

第27回ウィルソンビル市短期研修生：松澤 菜々子さん

私は中学２年生と高校２年生の時にウィルソンビルを訪れましたが、２度目の訪問では自分の言葉で心を通わせることができました。ホストファミリーや友人と再会し、英語が上達した自分を見せることができたことは大きな自信となりました。

現在、私は貧困地域の子どもたちの未来の選択肢を広げる活動に興味を持ち、神田外語大学で学びを深めています。今年６月には学校のプログラムでインドを訪れ、今まで見たことのない貧困を目の当たりにしました。また来年３月にはセブ島の孤児院を訪れる予定です。こうした大きな挑戦も、ウィルソンビルの経験が私の背中を押してくれているからです。いつか、私の人生のスタート地点であるウィルソンビルに戻り、恩返しをしたいです。

Column

地域との交流 大盛り上がり

小さな町で、若い外国人が集団で行動するのは圧巻でした。訪問した先々でウェルカムをして頂きましたが、一番はやはり小中学校の子ども達の反応でした！特に上三宮小学校での交流はスポーツをするなど双方が楽しんでいました。また山車を引く前の地域の若者との腕相撲も、国と国との戦いになるような異様な？盛り上がり！訪問団は私達の日常に素晴らしいリズムを提供してくれました。

成長しています！

❶記念植樹（2023年11月）

❷訪問団記念撮影（2024年2月）

昨年度はウィルソンビル市との姉妹都市交流35周年と言う節目の年。交流の記念にと頂いた心遣いを基に、日中線しだれ桜遊歩道に2本のしだれ桜を植樹しました。雪の舞う中にもかかわらずにこやかな記念撮影をした頃の桜、春の桜、そして高校生使節団が来た頃の桜。少しずつ成長しています！私達の交流もこの桜のように毎年交流を続け、大きく成長していきたいと考えています。

❹今回の使節団の記念撮影（2024年7月）

❸春の開花期の桜（2024年4月）

引っ越ししました！

今年、2024（R6）年５月13日、30数年滞在した商工会議所内の事務所から引っ越ししました。

引っ越し先は、「東町蔵屋敷　会陽館」。ここを初めて訪れる方は、「国際交流」と言う言葉から受けるイメージと江戸時代に建設されたという珍しい「蔵と庭」の対比に賞賛の声を上げてくれます。この地域は市の小田付伝統的建築物群保存地区に指定されています。この蔵は五十風家の子孫である五十風純一さんと土井惠重子さんから寄贈を受けたもので、市民の皆さんの公募で五十嵐家にゆかりのある「会陽製糸株式会社」から「会陽館」と言う名称になりました。

周辺には様々な蔵が立ち並び、市の魅力的なゾーンの一つになっています。市の伝統的保存地区の取り組みもさらに進み、コロナ禍の後の観光客の姿も増加しているように感じます。

すばらしい日本庭園が広がります！

〒966-0051　福島県喜多方市字東町4088-1　東町蔵屋敷会陽館内
TEL：0241-22-1712　FAX：0241-23-6210　Mobile：080-1830-8072
Email：mailakia@seagreen.ocn.ne.jp
ホームページ：https://kitakata-kokusai.jp/
Facebook：https//www.facebook.com/AKIAinfo
喜多方市外国人相談窓口専用ダイヤル　TEL：0241-23-6210

Column

5月から お世話になってます

今年5月からこの地域に越してきて、地域の方々に色々とお世話になっています。訪問団の来喜の際は両隣の方々に駐車場をお借りしたり、イベントの際には参加者のにぎやかな声が響き迷惑をかけたりと…また除草などの施設の定期的な清掃にも感謝しております。本当に、ありがとうございます！

8

8日　英語でeスポーツ

I Love KITAKATA!!

21日　Touch the World from Kitakata①

9

喜多方から世界に発信しよう！喜多方の子ども達にふるさと意識をしっかり持って、世界にはばたいていって欲しい！そんな願いをもって企画しました。エミリー先生の元気が皆さんにも伝わっています。子ども達の個性が光っていました。9月からはジョナサン先生が担当しています。

5日　外国語活動

真剣に学ぶ子ども達の表情、完成した絵に感動しました。

12日～13日　レッジョ・エミリア・アプローチ!

レッジョ・エミリア・アプローチは世界で注目されている幼児教育です。9月12日(木)18時から、啓和会東町のびやか保育園を中心とした私立保育園合同実行委員会形式で実施。「イタリアを五感で楽しむ会」と名付け、喜多方バルさんのパニーニと長泉寺住職の油谷充恩さんの歌曲をお聞きしてからのスタート。講師は津田純佳さん。文化庁の奨学生としてイタリアで学んできた方です。約50名の保育士さんは目を輝かして聞きいっていました。県幼児教育研修センターの方にも参加して頂きました。翌日13日は年長児23名を2班に分けての実践。根付き土付きピーナッツを素材に、子ども達は様々な発見をしていました。

18日～　秋期日本語教室（毎週水曜日）

参加者：12名（アメリカ・イタリア・インドネシア・カナダ・中国・フィリピン・ベトナム）

21日 Touch the World from Kitakata②

今月からジョナサンさんの登場。自分の出身イギリス・ワーリー(Whalley)と喜多方を比較しながら、子ども達に海外の文化も紹介しています。

10

いつも何かとお世話になっているロダさん。仕事も熱心ですが、お料理も上手！自慢の料理を皆さんに伝授！フィリピン語も学びながらの料理教室は初めて。皆さん熱心です。

17日　フィリピン語＆料理教室

6日 日本語教室交流会＆国際スポーツ交流

チームを組んで頑張りました！お天気にも恵まれ、楽しく！美味しく！交流しました。

19日　Touch the World from Kitakata③

11

16日 Touch the World from Kitakata④

多文化理解講座　外国人が自分の国を紹介するので、子ども達に教科書とは違う驚きを与えているようです。質問も活発に出るなど充実した時間になっています。

フィリピン

9/20

▲中村ロダさん
@山都小学校

中国　11/21

▲鈴木愛利さん
@駒形小学校

11/26

ベトナム

◀ディンヴァンザァンさん
@上三宮小学校

24日　中国語講座＆薬膳料理教室

12

13日・16日・18日・19日・20日　外国語活動

10日　ウィルソンビル市同窓会準備

21日　Touch the World from Kitakata⑤

26日～27日　多言語・多文化理解講座【スリランカ】

JICA福島デスク 松山里美さん／堂島・駒形・姥堂・塩川児童クラブ

第28回ウィルソンビル市短期研修生/日本語教室ボランティア：塚原　千穂さん

今年の秋から日本語教室のボランティアとして参加していますが、様々な国の方との会話をとおして、改めて日本語の難しさを実感しています。例えば、「大丈夫」という言葉は、良いですよという受諾の意味と結構ですという遠慮の意味でも使用されます。日本人はストレートな断り方をせず言葉を敢えて濁す傾向にありますが、イエス、ノーがはっきりしている外国人からすると、解釈に戸惑ってしまうかもしれません。断り方一つとってもその後の人間関係に大きく影響を与えるため、日本語教室ではやんわりとした断り方も教えており、会津喜多方国際交流協会の先生方の優しさが伺えます。国際交流の第一歩は、相手を想う気持ちから始まるのだと気づきを得ました。これからもボランティア活動をとおして、たくさんのことを学びたいと思います。

2024年度 協会の１年の歩み

※外国人相談窓口事業を除く

昨年2023（R5）年コロナ禍から解放され、社会も本格的に動き出したように見えました。協会も昨年の体制整備と事業・予算の充実から今年で2年目に入り、様々な新規事業に着手しております。今年7月には、6年ぶり、引率者を入れて20名と言う大人数のウィルソンビル高校生使節団が来喜し、多くのホストファミリーの方々にお世話になりました。今年度で2年目に入る市内小中学校で実施している多文化理解講座は、講師自身が出身国を紹介するため臨場感もあり、子ども達からの質問も活発に出ます。

日本語教室は来年度で20周年になりますが、当時の指導者の方々の想いは現在もしっかり引き継がれ、成果は着実に上がっています。また今年初めて実施した世界でも知名度の高い幼児教育、「レッジョ・エミリア・アプローチ」を、市内保育園の方々と実行委員会方式で取り組みました。

協会設立40周年に向かい、小さな町の望ましい国際社会づくりという視点をもち、時代を見据えた活動に取り組んでいます。ここでは1年の歩みをご案内します。

■ 水色のイベントは自主事業です。
■ 黄色のイベントは市委託事業です。

4

10日～　春期日本語教室（毎週水曜日）

参加者：8名（アメリカ・ウクライナ・中国・バングラデシュ・フィリピン・ベトナム）

日本語教室のスタートは、もちろん生徒―外国人の募集から始めますが、その募集の後、指導して頂ける方々との打ち合わせが始まります。応募してきた外国人の日本語のレベルと受講目的を、それぞれの指導者が意見交換。このような取り組みを経て、春と秋の日本語教室が始まります。毎週水曜日午後6時30分から8時まで。受講生は仕事終了後、それぞれの職場から駆け付けます。その熱意には頭が下がります。会場になっている喜多方プラザの会議室には、受講生と指導者の方々の柔らかい空気が流れているようです。春と秋にはそれぞれ交流会を行います。受講生は、普段とは違う雰囲気に多少戸惑いながらも、参加者達と交流を図っていました。日本語教室の受講生も徐々に増えてきており、指導を希望する方を求めています。現在、嬉しいことに3名の方々がトレーニングに励んでいますが、さらなるボランティアを期待します。

春期日本語教室（4/10～6/19）

5

15日
日本語教室交流会 @大和川酒造昭和蔵

21日
会陽館で行う初の総会

第36回総会
有意義な意見交換ができました。

秋期日本語教室（9/18～11/27）

6

16日　英語で絵本の読み聞かせ @喜多方市立図書館

英語で絵本の読み聞かせ事業、好評につき今年も実施しています。子ども達には様々な場面で多文化を体験してもらい、今しか味わえないかけがえのない経験を積んでほしいですね！

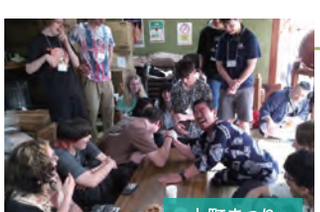
20日　ウィルソンビル高校生使節団 ホストファミリーオリエンテーション

7

3日　外国語活動

マイケルさん、今年も頑張っています！子ども達は先生に英語で名前を付けてもらって、ちょっと嬉しげ。

4日～14日　ウィルソンビル高校生使節団来喜


上町まつり

11日間の滞在の中で喜多方ならではの体験をしてもらえればと試行錯誤しました。それぞれが実り多い時間を過ごしてもらえていたら嬉しいな…と思うばかりです。
詳細についてはP.2-3をご覧ください。

10日　英語でまち歩き

29日　英語でeスポーツ

「レゴ©フォートナイト」を英語で楽しんでみようという企画。初挑戦の子どもばかりでしたが、あっという間にルールを覚えて楽しそうでした！

個人会員：鈴木　愛利（えり）さん（福島県日中友の会 会長）

私は、中国黒龍江省のハルビン出身で2002年に来喜し、会津喜多方国際交流協会の個人会員として多文化交流活動に積極的に関わっています。多文化理解の講師として地元の小学校で異文化の魅力を子どもたちに伝える活動や、薬膳料理教室では食文化を通じた国際理解を深める活動に取り組んでいます。2015年には「日中友の会」を設立し、在日華人と日本人が互いを理解し親睦を深める機会を提供しています。この会では、中国語教室をはじめ中秋節のBBQ交流、ヨガ教室、日本の文化を外国人に伝えるため浴衣着付け教室、また、中国人向けの講座(ビザとパスポート、税金、健康、老人ホーム及び介護、終活について)を開催し、両国の架け橋として活動しています。私は、「笑顔で前向きに、皆がつながる温かい社会を作りたい」と考えており、多文化共生と相互理解の大切さをこれからも皆に伝えていきたいです。

〒966-0051 喜多方市字東町4088-1　東町蔵屋敷会陽館内
Tel：0241-22-1712　Email:mailakia@seagreen.ocn.ne.jp

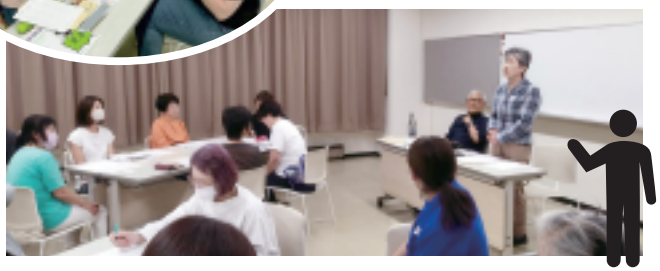
当協会の活動にご賛同いただいている協賛団体・法人会員の皆様です。

今年は年始めから、新しいことの連続でした。2月の姉妹都市35周年訪問団の来喜（5年ごとに実施、次回は2028年度の40周年）5月の外国人相談窓口開設・引っ越し、7月のウィルソンビル高校生使節団の6年ぶりの来喜。コロナ禍から明けて社会が活性化してきたのに連動するかのように、協会の動きも活発になってきました。このような活動の影響もあり、会員増やご寄付の動きが出ています。12月現在、個人会員120名・法人会員63名、また正副会長には5月の窓口開設や7月の使節団の来喜の際にご寄付を頂いております。また日米委員長佐藤治良さんや「渋沢岩子」の名前で多大なご寄付も頂きました。感謝申し上げます。

ボランティアさん求めます！

協会には沢山のボランティアの方々がおります。来年度20周年を迎える日本語教室の指導者の方々、料理教室等のイベントの際のサポート、そして会報や総会資料発送のお手伝いをしてくださる方々やウィルソンビルの子ども達の11日間に及ぶホームステイ。これらは原則無償です！協会の脆弱な体制のために、喜多方の子ども達のために！と、その思いには熱いものがあります。協会の活動はさらに広がります。より多くの方々のご協力が必要です！ご連絡、お待ちしています。

▲日本語教室


▶ホストファミリーオリエンテーション

会員紹介

夏井洋子さん

私の友人の娘さんが勤めているこちらの協会から、県国際課で実施しているホームステイ受け入れの話をきっかけにボランティア登録して、他国の人々との交流を始めました。また今回ウィルソンビル高校生の受け入れもしました。大人の交流も良し、子どもとの交流もこれまた良しで、大変うれしい経験になりました。

私は英語や他国の言葉はわかりませんが、今は翻訳機能付きのスマホがあり、言葉には苦労なく、心と心を通わせるありのままの生活で10日間高校生と過ごすことが出来ました。自分の子どものように接して、我が家の普段通りの生活で楽しく過ごしてもらい、アメリカへ帰る時は、お互い感謝の気持ちを伝えることが出来ました。すばらしい経験に、「ボランティア最高」の気持ちでいっぱいです。ボランティア登録して良かったと思いました。

■法人会員 【法人会員/63　個人会員/120】

令和6年12月1日現在　※五十音順

事業所名	事業所名	事業所名	事業所名
㈱会津喜多方グローバル倶楽部	小野瀬工業㈱	㈱日新会入澤病院	㈲星商店
会津グローバルネットワークス㈱	カーシーカシマ㈱喜多方工場	JUKI会津㈱	ほまれ酒造㈱
会津商工信用組合　喜多方支店	樫内建設工業㈱	㈲新丁子屋	㈲松本屋
会津信用金庫　喜多方支店	カランドリエ	㈱スカイ運輸	㈱丸正
会津電力㈱	㈱河京	㈱爽陽会鳴瀬病院	㈲峰の雪酒造場
㈱アクシス	喜多方グリーンホテル	㈱曽我製麺	㈱山田産婦人科医院
㈲朝日屋食品	喜多方ブル自工㈱	㈱ダイゴ	夢心酒造㈱
アドフレックス	木之本漆器店	㈱大東銀行　喜多方支店	
荒川産業㈱	㈱蔵のまち喜多方老麺会	㈱高橋建設	
㈱五十嵐製麺	㈱啓和会	東條貞一郎	
㈱伊藤金四郎商店	㈱健仁会　あきもと整形外科クリニック	㈱東邦銀行　喜多方支店	
㈱岩田商店	㈱小枝屋一平	㈲中野商店	
㈱ウエステック	㈱COCKPIT121	NPO法人日中友好技術人材交流協会	
㈱ヴェルリンク	㈱昨雲会　飯塚病院	㈱ノーリン	
㈲江川建設重機	㈱佐原病院	羽入縫製㈱	
㈲おおお多	㈱子博会　高橋小児クリニック	マツモトプレシジョン㈱	
小汲歯科医院	㈱島崎組	日吉工業㈱	

■協賛団体

事業所名
(一社)会津喜多方青年会議所
会津喜多方ライオンズクラブ
喜多方中央ロータリークラブ
喜多方ロータリークラブ
国際ソロプチミスト喜多方

編集後記

事務局長　堀　恵子

今年は協会35周年の歴史の中でも記憶に残るような一年になりました。皆様の一年は如何でしたでしょうか。そして新たな年がもうすぐそこに来ています。来年は「巳年」。気候変動、国際化と、この小さな町も様々な影響を受けていますが、前を向いて一歩ずつ歩みを進めていきたいと考えています。来年から、「ふくしまDC」のプレも始まります。この機会に町の魅力を再発見し、喜多方を世界に発信していきましょう！